



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月29日

上場会社名 インフォコム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4348 URL <https://www.infocom.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹原 教博  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 田中 新也 TEL 03-6866-3160  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月7日 配当支払開始予定日 2018年11月27日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有 2019年3月期第2四半期決算説明会資料  
 四半期決算説明会開催の有無：有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	23,128	9.1	2,596	9.8	2,616	△0.7	1,877	△27.1
2018年3月期第2四半期	21,203	9.7	2,365	46.9	2,634	62.3	2,574	145.8

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 3,331百万円 (14.9%) 2018年3月期第2四半期 2,899百万円 (285.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	68.65	68.35
2018年3月期第2四半期	94.16	93.77

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	40,153	30,957	76.7
2018年3月期	38,237	28,360	73.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 30,787百万円 2018年3月期 28,227百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	10.00	—	28.00	38.00
2019年3月期	—	10.00	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	—	—	30.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	11.4	6,700	14.9	6,700	12.0	4,600	△0.9	168.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2018年10月29日）公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	28,800,000株	2018年3月期	28,800,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,451,571株	2018年3月期	1,451,481株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	27,348,461株	2018年3月期2Q	27,345,284株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当四半期決算説明会資料は、TDNetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載します。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、米中貿易摩擦の拡大等に伴う海外リスクにより不透明感が高まりつつある一方で、輸出や設備投資の底堅い増加や、企業収益や雇用・所得環境の着実な改善を背景に個人消費の持ち直しの動きがあり回復基調で推移しました。

IT関連市場では、スマートフォンやタブレット等のモバイル端末によるクラウドサービスの利用とともに、AIやIoTのビジネスへの適用拡大、「働き方改革」の実現に向けたRPAの本格活用等により、IT需要全体が好調に推移すると見られています。

電子書籍市場は、2017年8月頃から急増していた海賊版サイトの影響が沈静化したことにより、成長基調を回復しています。

このような経営環境において、当社グループは中期経営計画（2017年4月～2020年3月）の基本方針である「成長の追求」と「成長を支える経営基盤の継続的強化」の下、電子コミックとヘルスケアを重点事業として、M&Aの積極的推進に加え、AIやIoTを活用したビジネス展開等に取り組んでいます。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高23,128百万円（前年同四半期比9.1%増）、営業利益2,596百万円（同9.8%増）、経常利益2,616百万円（同0.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,877百万円（同27.1%減）※となりました。

※当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益の減少の要因は、前第2四半期にデータセンター売却に伴う固定資産売却益を計上したことによるものです。

なお、当社グループの業績は、企業や病院向けの製品・サービスの納期が年度末の3月に集中する傾向があるため、売上高、利益ともに第1・第3四半期が相対的に少なくなり第4四半期に集中する傾向を有しています。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### ① ITサービス・セグメント

当第2四半期連結累計期間のITサービス・セグメントは、ヘルスケア事業が堅調に推移したものの、企業向けITサービスの減収により売上高は10,299百万円（前年同四半期比2.4%減）となりました。また、AI、ヘルスケア事業での先行投入強化により、営業利益403百万円（同36.0%減）となりました。

ヘルスケア事業は、既存の病院・製薬企業向けの製品・サービスの販売促進を強化し、診療報酬改定に伴い診療情報管理システムの販売が拡大しました。更に、病院等における働き方改革検討開始に伴い勤務実態把握に有効な就業管理システムの販売も順調に推移しました。また、地域包括ケア領域における新たな展開として、医療・介護施設検索サービス「ケアリン」と、介護職向け転職支援サービス「ケアスタイル」の提供開始に加え、SOMPOホールディングス㈱と買い物代行サービスの実証実験を開始しました。同事業では通期売上高目標を達成するため、先行投資を強化し製品ラインナップの拡充及び販売体制の強化を進めています。

企業向けのITサービスでは、統合業務ソフトウェアパッケージの新バージョン「GRANDIT3.0」に加え、オプション製品「RPA Solution for GRANDIT」の提供を開始しました。また、パートナーとの協業によりRPA導入支援サービスを拡充しました。更に、AIを活用した後払い決済与信サービス「at score」及び、食品衛生管理を効率化する「食品温度管理IoTサービス」の提供を開始しました。

#### ② ネットビジネス・セグメント

当第2四半期連結累計期間のネットビジネス・セグメントは、電子コミック配信サービスが好調に推移し、売上高12,828百万円（前年同四半期比20.5%増）、営業利益2,188百万円（同26.5%増）となりました。

電子コミック配信サービスでは、㈱集英社との協業企画第2弾として「グランドジャンプめっちゃ」の発売にあわせ、同誌の全掲載作品を「めっちゃコミック」で独占先行配信しました。また、㈱KADOKAWAのコミック提供を開始し、ラインナップを拡充しました。これらの取り組みにより、月間及び四半期の売上高について過去最高を更新しています。同サービスでは今後も通期売上高目標を達成するため、サービス内容の充実に努めます。

なお、連結子会社である㈱アマタスは電子書店4社と連携して、海賊版サイト対策や健全な市場の発展を目的とした「日本電子書店連合」を設立しました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①連結財政状態

総資産は、売上債権が減少する一方、投資有価証券の時価評価による増加及びたな卸資産の増加等により前連結会計年度末と比較して1,915百万円増加し、40,153百万円となりました。負債は、賞与引当金及び未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末と比較して680百万円減少し、9,196百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末と比較して2,596百万円増加し、30,957百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の73.8%から76.7%に上昇しました。

## ②連結キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は17,172百万円となり、前連結会計年度末より542百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主たる増減要因は以下のとおりです。

## 〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動によって得られた資金は2,018百万円（前年同四半期は2,390百万円）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益2,726百万円（同3,773百万円）及び売上債権の減少1,809百万円（同1,048百万円）等により増加し、たな卸資産の増加579百万円（同298百万円）及び法人税等の支払1,687百万円（同1,006百万円）等により減少したものです。

## 〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動に使用した資金は686百万円（前年同四半期は1,822百万円の収入）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出429百万円（同129百万円）等によるものです。

## 〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動に使用した資金は796百万円（前年同四半期は437百万円）となりました。これは主に配当金の支払765百万円（同410百万円）によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想は、当第2四半期連結累計期間の業績及び最近の業績動向等を踏まえ、2018年4月26日に公表した通期連結業績予想を上方修正しました。詳細は、2018年10月29日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,625	17,167
受取手形及び売掛金	9,707	7,898
たな卸資産	270	850
その他	1,033	1,518
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	27,636	27,433
固定資産		
有形固定資産	1,004	948
無形固定資産		
ソフトウェア	1,968	1,880
その他	42	40
無形固定資産合計	2,010	1,921
投資その他の資産		
投資その他の資産	7,693	9,955
貸倒引当金	△107	△105
投資その他の資産合計	7,586	9,850
固定資産合計	10,601	12,719
資産合計	38,237	40,153
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,457	3,569
未払法人税等	1,539	818
賞与引当金	1,211	887
その他	3,460	3,082
流動負債合計	9,667	8,357
固定負債		
その他	209	838
固定負債合計	209	838
負債合計	9,876	9,196
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,590	1,590
資本剰余金	1,449	1,449
利益剰余金	25,089	26,201
自己株式	△816	△816
株主資本合計	27,312	28,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	964	2,422
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△49	△59
その他の包括利益累計額合計	915	2,363
新株予約権	128	157
非支配株主持分	4	12
純資産合計	28,360	30,957
負債純資産合計	38,237	40,153

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	21,203	23,128
売上原価	11,134	12,070
売上総利益	10,069	11,058
販売費及び一般管理費	7,703	8,461
営業利益	2,365	2,596
営業外収益		
受取利息及び配当金	48	58
持分法による投資利益	5	5
為替差益	0	—
パートナーシップ利益	214	—
その他	1	0
営業外収益合計	269	63
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	0
パートナーシップ損失	—	41
その他	0	0
営業外費用合計	0	43
経常利益	2,634	2,616
特別利益		
固定資産売却益	1,138	—
投資有価証券売却益	2	114
その他	48	—
特別利益合計	1,189	114
特別損失		
減損損失	2	—
固定資産除却損	7	1
投資有価証券評価損	39	3
特別損失合計	50	4
税金等調整前四半期純利益	3,773	2,726
法人税等	1,199	841
四半期純利益	2,574	1,884
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,574	1,877

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	2,574	1,884
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	373	1,457
繰延ヘッジ損益	1	△0
為替換算調整勘定	△50	△9
その他の包括利益合計	324	1,447
四半期包括利益	2,899	3,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,900	3,325
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	6



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,773	2,726
減価償却費	564	540
減損損失	2	—
株式報酬費用	34	29
のれん償却額	5	—
引当金の増減額 (△は減少)	△296	△322
受取利息及び受取配当金	△48	△58
支払利息	0	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2	△114
固定資産売却損益 (△は益)	△1,138	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,048	1,809
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△298	△579
仕入債務の増減額 (△は減少)	3	112
その他	△221	△500
小計	3,427	3,642
利息及び配当金の受取額	45	63
利息の支払額	△0	△0
事業再編による支出	△346	—
法人税等の支払額	△1,006	△1,687
法人税等の還付額	270	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,390	2,018
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△117	△173
無形固定資産の取得による支出	△375	△314
有形固定資産の売却による収入	2,432	—
投資有価証券の取得による支出	△129	△429
投資有価証券の売却による収入	2	231
差入保証金の差入による支出	△0	△0
差入保証金の回収による収入	8	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,822	△686
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△29	△31
配当金の支払額	△410	△765
非支配株主からの払込みによる収入	1	1
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△437	△796
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,772	542
現金及び現金同等物の期首残高	12,408	16,630
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,180	17,172

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ITサービス	ネットビジネス			
売上高					
外部顧客への売上高	10,553	10,649	21,203	—	21,203
セグメント間の内部売上高 又は振替高	295	0	296	△296	—
計	10,849	10,650	21,500	△296	21,203
セグメント利益	630	1,729	2,360	4	2,365

(注) 1. セグメント利益の調整額4百万円は、セグメント間取引消去及び全社費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ITサービス	ネットビジネス			
売上高					
外部顧客への売上高	10,299	12,828	23,128	—	23,128
セグメント間の内部売上高 又は振替高	49	1	50	△50	—
計	10,349	12,829	23,179	△50	23,128
セグメント利益	403	2,188	2,591	5	2,596

(注) 1. セグメント利益の調整額5百万円は、セグメント間取引消去及び全社費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。